

特 112

139

大正十一年度業務報告

岐阜縣工業講習所



始



目次

緒言	二
第一章 設備	二
一、建物	二
二、機械器具	二
第二章 一般狀況	五
一、講習生募集成績	五
二、教授並實習	八
三、機業者との關係	三
四、衛生狀態	三
第三章 雜件	四
一、職員出張調	四
二、事務件數調	四
三、豫算	五
第四章 規則及規程	六
一、岐阜縣工業講習所規則	六
二、岐阜縣工業講習所規程	二
三、岐阜縣工業講習所處務規程	三

特 112
139

大正十一年度業務報告

緒言

近時縣下染織工業ノ著シキ發展ニヨリ之レニ對スル助長施設ノ如キモ亦種々アルベシト雖モ就中從業者ノ知能啓發ヲ目的トスル工業教育ノ必要ナルハ論ヲ俟タザルノ所ナリ

思フニ戰時不自然ナル經濟界ノ好況ニ基因シ染織工業ノ如キモ亦等シク其ノ餘影ヲ享ケ之レガ爲メ何レモ一躍家内工業ヨリ企業制工業ニ進化シ外觀大ヒニ革リタルガ如キモ之レガ經營ニ就テハ科學的經營ニ據ルモノ尠ク極メテ不經濟ノ狀態ニアリ故ニ助長施設ノ一端トシテ大正九年度ニ於テ工業講習所ヲ開設シ染織工業ニ關スル普通學理ト實地技術トヲ教授シ一ハ以テ各工場ニ於ケル技術者トシテ工場中間ニ介在スル下級指揮者ノ養成ニ努メ一ハ以テ小工場ニ於ケル工場主トシテ容易ニ事業ヲ經營シ得ラル、モノ、養成ニ任シ大正十一年三月始メテ第一回卒業生拾五名ヲ出シ之レヲ各工場ニ分派シ得ル自營等ヲナサシメタルニ其ノ成績甚ダ良好ニシテ何レモ盛シニ活動シツ、アリ如斯狀態ニアルベシト自然本所ノ必要ヲ一般ノ認識スル所トナリ大正十一年度ノ如キハ志願者數ニ於テハ敢テ誇ルベシトラルベキモ實ニ於テハ次第ニ優良ナルモノヲ得ルニ至レリ從ツテ將來ノ卒業生ハ一層優秀ナルモノヲ得ラルベク專ラ職員ヲ督勵シ生徒ノ養成ニ努メツ、アリ傍ラ教授ノ都合ト經費ノ許ス範圍ニ於テ縣下織物狀況ヲ調査シ尙又近時消費節約ノ宣傳ニヨリ各地處女會主催ノ下ニ絞染講習會ヲ開催シ講師ノ派遣ニ依頼スルモノアリタルヲ以テ之レニ職員ヲ派遣シ染織工業ニ關スル概念ヲ授クルガ如キ何レモ知能啓發ヲ主眼トシ染織工業ノ推移變動ニ順應シ得ル技術者ノ養成ニ努メ而シテ秩序的發達ヲ促カシツ、アリ



第一章 設備

一、建物

工業試験場整理室長八間奥行三間總坪二拾四坪ノモノ壹棟坪改造ノ上ニ教室ヲ設ケ生徒四拾名ヲ收容シ教授シツ、アルモ教室狹隘ノ爲メ教授上種々ナル不便支障アリ故ニ本所ノ擴張ヲ要求シツツアルモ未タ其ノ機ニ到ラザルハ甚ダ遺憾ナリ

二、機械器具

大正十一年度購入重ナル機械器具

品名	員數	價格	購入年月日	納
湯呑所	一	一〇〇〇	大正拾一年五月廿四日	岐阜市
捺染機械	一	二〇〇〇	年五月廿八日	小 瀬 治 郎 八
計	二	二一〇〇〇		和歌山市 出 來 助 三 郎
大正拾年度購入重ナル機械器具				
品名	員數	價格	購入年月日	納
理化學機械	七	九六九八〇七	大正拾一年八月二拾日	京都市 島 津 源 藏

大正九年度購入重ナル機械器具

品名	員數	價格	購入年月日	納
機 全	五	二七五〇〇	全 年拾月二日	岐阜市 大 洞 增 吉
全	一	九五〇〇	大正拾一年三月八日	全 山 口 吉 丸
全	五	三六五〇〇	全 年三月拾四日	全 大 洞 增 吉 丸
腰 掛	一	一六〇〇〇	全 年三月二拾四日	全 山 口 吉 丸
黒 板	二	三九八〇〇	大正拾一年三月九日	全 大 洞 增 吉 丸
下 駄 箱	一	一五〇〇〇	全 年二月拾三日	全 大 洞 增 吉 丸
傘 棚	一	五〇〇〇	全 上	全 大 洞 增 吉 丸
戸 棚	一	四五〇〇〇	大正十一年三月十三日	全 小 瀬 治 郎 八
計	一一六	九二八三七〇		
大正九年度購入重ナル機械器具				
品名	員數	價格	購入年月日	納
檢力計	一	七〇〇〇	大正九年九月廿日	横濱市 井 新 人
檢類器	一	七〇〇〇	全 上	全 松 井 新 人

糸質顯微鏡	一	八五〇〇〇	大正九年九月廿一日	東京市	宮澤文吉
比色試驗器	一	二四五〇〇	年八月廿五日	京都市	津源藏
化學用天秤	一	一四〇〇〇	年九月廿三日	全	人
試染浴	五	四七〇〇〇	年九月三十日	岐阜市	松尾松之助
試染浴臺	一	三七五〇〇	年十月三十日	全	大洞增吉
寫真染用枠	一	一四〇〇〇	大正十年三月三十日	全	人
物理準備臺	一	七〇〇〇	年一月廿五日	全	山口吉丸
物理實驗臺	一	二〇〇〇〇	上	全	人
黑板	二	四〇〇〇〇	大正九年五月一日	全	大洞增吉
教壇	二	二〇〇〇〇	年五月二日	全	人
下駄箱	一	一〇〇〇〇	年五月廿五日	全	人
傘棚	一	一〇〇〇〇	上	全	人
机	二	一七四〇〇	年五月九日	全	山口吉丸
全	一〇	四〇〇〇〇	年四月廿五日	全	大洞增吉

全	一〇	四〇〇〇〇	全	年四月廿七日	全	人
全	一〇	四〇〇〇〇	全	年五月十六日	全	人
全	一〇	四〇〇〇〇	全	年五月廿五日	全	人
全	一	一〇〇〇〇	全	年九月十三日	全	人
腰掛	二〇	四〇〇〇〇	全	年四月廿六日	全	人
全	二〇	四〇〇〇〇	全	年五月二十日	全	人
計	一〇三八六二四〇〇					

第二章 一般狀況

一、講習生募集成績

本所設立ノ趣旨漸次一般ノ認ムル所トナリ大正十一年度ニ於ケル募集成績ハ稍良好ニシテ募集人員約二十人ノ豫定ニ對シ應募人員三十一名ニ達シタリ之レガ爲メ選抜試験ヲ行ヒ其ノ内優秀ナリト認ムルモノ二十一名入學ヲ許可セリ更ニ應募者郡市別及入學歩合、入學者年齢別、入學者父兄職業別、學力程度、半途退學者等ヲ表示スレバ左ノ如シ

應募者市郡別及入學歩合

郡市 應募人員 入學人員 百分比

種別	入學者父兄職業別	入學者年齡別		最高	最低	平均	員	百分比
		二十一歲	十四歲					
計		三二	二二	二	一	二	二	六、七
大垣		二	一					五、〇
不破		二	二					一〇、〇
羽島		二	二					五、〇
山縣		四	二					一〇、〇
武儀		四	四					八、〇
稻葉		五	四					八、〇
本巢		五	四					五、七
岐阜		七	四					

種別	入學者學力程度	半途退學者		員	百分比	員	百分比
		第一學年	第二學年				
計		二二	二一	二二	一〇〇、〇	二二	四七、六
農業				一〇			四七、六
工業				四			一九、〇
商業				七			三三、三
種別		員	百分比	員	百分比		
高等小學卒業		二一					
高等小學卒業		二一					
同等小學卒業		一					
種別		人	員	百分比	人	員	百分比
病氣		一	一	一		一	
家事都合		一	一	一		一	

死	計	一	一	一	一
				四七、六	

二、教授並實習狀況

機械及染色圖案等ニ就テ必要ナル普通學理ヲ會得シ且實地技術者ヲ有スル下級指揮者ヲ養成スルヲ以テ目的トセリ而シテ又品性ノ陶冶ニ就テハ質實剛健ノ氣風ノ涵養ニ一層ノ注意ヲ拂ヒタリ故ニ夏期休暇ノ如キモ工場生活ノ興味ヲ體認セシムル爲メ第二學年生徒ヲ左記工場ニ派遣セリ

實地練習工場別

期	間	場	所	姓	名
自七月二十日	至八月十八日	竹ヶ鼻町竹ヶ鼻織染株式會社	高橋	高橋	繁
		笠松町美濃整染株式會社	坪内	坪内	一六
		全	尾畑	尾畑	博
		岐阜市日本紙糸株式會社	三輪	三輪	一
		全	寺町	寺町	岩男
		岐阜市外日本絹紬株式會社	鷲見	鷲見	堯一
		全	福田	福田	稔

全	岐阜市岐阜織物株式會社	篠田	一正
全	付知町付知織物株式會社	佐藤	悅一
全		早川	貞示

修學旅行

所内ニ於ケル教授ノミニ偏スルトキハ往々生徒ヲシテ倦怠ノ弊ニ陥ラシムルコトナシトセズ且又設備等未ダ完全ナラザル本所ノ如キハ實地教授トシテ各専門ノ設備ヲ有スル大工場ヲ縱覽セシムルノ必要ヲ認メ機ヲ見テ左記ノ通り修學旅行ヲナサシメタリ是等ハ單ニ見聞ヲ廣カラシムルニ止マラズ大ヒニ向上心ヲ喚起シ修學上ノ効果尠ナカラザリシモノト信ズ大正十一年中修學旅行ヲナサシメタルケ所左ノ如シ

期	間	日	數	旅行地	人	員	監督者
自五月廿三日	至全廿七日		五	東京市	二〇	技師	神野英助
			一	大垣市	三一	技手	神田端治
			一	笠松町	三一	全	人

卒業生就職ノ狀況

本所ハ大正十一年二月ヲ以テ始メテ機械科九名色染科五名圖案科一名合計拾五名ノ卒業生ヲ出シ之ヲ

地方ニ分派セリ其ノ成績ヲ見ルニ何レモ豫期以上ノ待遇ヲ得就職ヲナシ其ノ後動靜ニ就テハ本所ハ絶
 ヘテ監督ノ位置ニ立テ連繫ヲ保タシメ指導誘掖ヲ怠ラサリシ結果漸次發展ノ途ニアリ如斯クシテ年々
 本所ニ於テ教養セシ卒業生ヲ地方ニ分派スルコトヲ得バ是等卒業生ノ活動ニヨリ次第ニ縣下染織工業
 ノ改良發達ヲ見ルニ至ルベキハ信ジテ疑ハザル所ナリ左ニ卒業生ノ就職ノ區分ヲ列記ス

就職工場別並自營者別

就職工場別	姓	名
岐阜織物株式會社	高木	良平
自營	堀勝	次
全	加藤	郁次
大垣毛織株式會社	近藤	昇
全	高橋	照之
日本紙糸株式會社	加藤	桂三
日本絹毛株式會社	森島	又
日本毛織株式會社	岡田	光男
全	青木	泰一

職務分擔	科目	職目	氏名
金華友禪合資會社	色染	桑原	傳
柴田染料店	全	棚橋	三郎
美濃整染株式會社	全	說田	蔀
付知織物株式會社	全	三尾	巳
大垣毛織株式會社	全	鷺見	坦
美濃織同業組合	全	關守	馬二
擔任	科	目	職
修身、分解機	織	所長	高田覺
圖案、製圖、自在畫、實習	習	技師	永野秀五郎
數學、仕上、物理	理	技手	林加藤美輝
機械法、分解意匠、實習	習	技手	加藤美輝
羅馬字綴、染色法、化學、原料、數學、實習	習	技手	神田端治
庶務、會計	計	主事	補岡田茂三郎

所 醫

職員任免

現職員

囑託醫 石 崎

玄 作

十二

大正十一年六月十六日所長ヲ命ズ	所長(兼任)	高 田 覺
全 年十一月二十日技師ニ兼任ス	技師(兼任)	永 野 秀 五 郎
全 九年六月二十六日技手ニ兼任ス	技手(兼任)	林 茂
全 年三月三十一日技手ニ兼任ス	技手(兼任)	加 藤 美 輝
大正十年五月二十三日技手ニ任ズ	技手	神 田 端 治
大正九年三月三十一日主事補ニ兼任ス	主事補(兼任)	岡 田 茂 三 郎
大正十年四月十日囑託	所醫	石 崎 玄 作
大正九年四月一日所長ヲ命ズ	所長(兼任)	熊 田 健 一
大正十年七月十五日三重縣へ轉任	技師(兼任)	小 林 太 四 郎
大正九年四月一日技師ニ兼任ス	所醫	清 水 馨 石
大正九年六月四日額ニ依リ兼職ヲ免ズ		
大正九年五月三十一日所醫ヲ囑託ス		
大正十年三月三十一日囑託ヲ解ク		

舊職員

大正九年四月二十日技師ニ兼任ス
 大正十一年一月十八日愛媛縣へ轉任
 大正十年七月二十日所長事務取扱ヲ命ズ
 大正十一年六月十六日所長事務取扱ヲ免ズ
 大正九年六月十六日技師ニ任ズ
 大正十一年十月十六日額ニ依リ本職ヲ免ズ

三、機業者トノ關係

本所ハ本務ノ傍ラ常ニ當業者トノ連繫ヲ密接ニシ各種ノ指導ニ應ジ以テ縣下染織工業ノ改發ニ努メタリ而シテ又近時消費節約ノ宣傳ニヨリ各地處女會主催ノ下ニ絞染講習會ヲ開催シ講師派遣方依頼アリタルヲ以テ本所ハ授業ト經費ノ許ス範圍ニ於テ左記ノ通派遣セリ

期 間	日 數	場 場	所 講	師
自七月廿五日 至全 廿九日	五	竹ヶ鼻町小學校	技手	神 田 端 治
全 九月七日	三	八神村小學校	全	人
全 十月七日	二	福壽村小學校	全	人
全 十月八日	二	上中島村小學校	全	人
全 十月三十一日 全 十一月一日	二	上中島村小學校	全	人

四、衛生狀態

平素衛生ニ就テハ深甚ノ注意ヲ拂ヒ体育ノ養成ニ務メ大正九年十月相撲場ヲ設置シ盛ニ之ヲ獎勵セシカ 健康狀態極メテ良好トナリ病氣缺席ノ如キハ殆ント之ヲ見サルニ至リタリ而シテ又飲料水ノ如キ

十三

モ注意ノ必要ヲ認メ大正十一年五月湯呑所ヲ新設セリ
 大正十一年四月所醫ヲシテ健康診断ヲナサシメタル成績左ノ如シ

種別	人員		百分	
	第一學年	第二學年	第一學年	第二學年
強健	五	五	二三、八	四五、四
中等	一六	六	五二、三	五四、五
薄弱	一	一		
計	二二	一一		

第三章 雜件

一、職員出張調

職別	管内		管外		計
	回数	日數	回数	日數	
技師	六	七	二	六	一三
技手	二二	三二	二	九	四一
計	二九	三九	四	一五	五四

二、事務件數調

文書二五七件

普通文書件數	秘書書件數		計
	受發	送	
一三三	一一五	四	一三七
受發	送	受發	送
一三三	一一五	四	一三〇

會計四一九件

仕拂件數	收入件數	物品購入件數
一八四	一	一三三

三、豫算

科目	總額			附記
	大正九年度豫算額	大正十年度豫算額	大正十一年度豫算額	
體給	一、三四、〇〇〇	二、五六、〇〇〇	二、五〇、〇〇〇	技師一人年俸千五百圓 技手一人月俸八十五圓
旅費	一〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	
雜給	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	一人月手當五圓
所費	五九、〇〇〇	五八、〇〇〇	二九、〇〇〇	

第四章 規則及規程

一、岐阜縣工業講習所規則 (大正九年三月十一日)
(岐阜縣令第十八號)

第一條 本所ハ農商務省工業講習所規程ニ基キ機械及染色ノ工業ニ必須ナル學理及技術ヲ授クルヲ以テ目的トス

第二條 講習生ノ定員ハ四十名トス

第三條 講習課程及教授時間左ノ如シ

學科課程每週教授時間數

科目	第一學年	第二學年
修身	一人倫道德	同上
羅馬字綴		
數學	五算術代數幾何	二代數幾何
物理學	三物理大意	
化學	二無機有機	

製	自	機	機	織	機	分	力	仕	染	實	計
製圖	自在畫	機械學	機械學	織物原料	織織法	分解意匠	織法	仕上法	染色法	實習	計
三	二			二	三	五				二二	三九
用器畫	毛筆水彩			各織維	組織手機裝置準備	分解意匠大意				機械、染色、圖案	
二	二	一	二	二	四	五	三	一	二	一四	三九
機械製圖	圖案	機械學大意	發動機		特別機械法、紋織法	同	力織法大意	仕上大意	染法大意	同	

第四條 講習期間ハ二箇年トス
 第五條 講習年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 第六條 講習年度ヲ分テ左ノ三トス

第一期 自四月一日至八月三十一日
 第二期 自九月一日至十二月卅一日
 第三期 自翌年一月一日至三月卅一日
 第七條 休業日左ノ如シ

日曜日、大祭日、祝日、開所記念日、夏期休業 自七月拾五日
 至九月一日
 冬期休業 自拾二月廿六日
 至翌年一月七日

第八條 講習生募集ハ每講習年度ノ始メニ於テシ其ノ期日及員數ハ其ノ都度之ヲ告示ス
 第九條 入學志願者ハ品行方正身體健全ニシテ在學中家事ニ係累ナク左ノ資格ヲ有スル男子タルベシ

一、滿拾四歳以上ノ者
 一、高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アル者

但シ應募者ノ數入學ヲ許スベキ人員ニ超過シタルトキハ試験ニ依リ入學者ヲ選抜ス

第十條 入學志願者ハ第一號書式ノ願書ニ第二號書式ノ履歷書ヲ添ヘ所長ニ差出スベシ

第十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ第三號書式ノ誓約書ヲ入學許可後十日以内ニ所長ニ差出スベシ

第十一條 保証人ハ入學者ノ父母尊屬又ハ之レニ代リテ監督ノ責ニ任ジ得ベキ丁年以上ノ戸主二人ト

シ内一人ハ岐阜市内ニ在任ノ者タルベシ

保証人其ノ責ヲ盡サルトキハ所長ハ其ノ生徒ノ出席ヲ停止シ若ハ保証人ノ變更ヲ命スルコトアルベシ

保証人死亡其ノ他ノ事故ニ依リ其ノ責任ヲ盡スコト能ハザルトキハ更ニ保証人ヲ定メ所長ニ届出誓約書ヲ更正スベシ

第十條 退學セムトスルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ保証人連署ノ上所長ニ願出ベシ

第十條 左ノ各項ノ一ニ該當スルトキハ退學ヲ命ス

一、品行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認ムル者

一、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

一、引續五箇月以上缺席シタルモノ

一、正當ノ事由ナク引續一箇月以上缺席シタル者

第十五條 試験ヲ分チテ臨時試験、學年試験、卒業試験ノ三種トス

臨時試験ハ臨時之ヲ行フ

學年試験ハ講習年度ノ終ニ之ヲ行フ

卒業試験ハ全科終了後之ヲ行フ

第十六條 卒業試験ニ及第シタル者ニハ第四號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第十七條 所長ハ必要ト認メタルトキハ生徒ニ左ノ懲戒ヲ加フ

一、戒 飾

一、謹 慎

一、停 學

第十八條 講習生ニ對シ授業料ヲ徵收セス

第十九條 本所又ハ工業試験場、建物、機械、器具等ヲ毀損又ハ亡失シタル講習生ニハ現品若ハ損害ノ全額ヲ賠償セシムルコトアルヘシ

第二十條 所長ハ知事ノ認可ヲ得テ本則施行上必要ナル細則ヲ定ムルコトヲ得

第二拾一條 木則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
○第一號書式

入學願 (用紙半紙)
 住 所 籍 所 何 某幾男又ハ何々
 年 月 日生 某
 右ハ貴所入學志願ニ付御許可相成度履歷書相添へ此段相願候也
 住 所 籍 戶主(若ハ戶主トノ續柄)
 族 所 入學志願者 何 某
 年 月 日生 某

○第二號書式 岐阜縣工業講習所長宛

履歷書 (用紙半紙自筆タルコト)
 住 所 籍 所 何 某幾男又ハ何々
 年 月 日生 某
 一、何年何月ヨリ何年何月迄何學校若ハ何某ニ就キ何學修業
 一、何月何月何學校ニ於テ第何學年ノ課程ヲ卒業

一、何年何月ヨリ何年何月マテ何職ヲナス
 右ノ通相違無之候也

○第三號書式

誓約書 (用紙半紙)
 住 所 籍 所 何 某幾男又ハ何々
 年 月 日生 某
 本人 何 某
 右

今般右ノ者貴所ニ入學許可相成候ニ付テハ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ私ニ於テ引受可申此段誓約候也

住 所 住 所 住 所
 保 證 人 保 證 人 保 證 人
 年 月 日 年 月 日 年 月 日
 何 何 何 某 某 某

○第四號書式 岐阜縣工業講習所長宛

卒業證書

族籍

何

某

右ハ本所ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

第 號

岐阜縣工業講習所長

氏

名

二、岐阜縣工業講習所規程

(大正九年三月十一日 岐阜縣告示第九拾七號)

第 條 岐阜縣工業講習所ハ岐阜縣工業講習所規則ノ定ムル所ニ依リ染職工業ノ講習ニ關スル事務ヲ掌ル

第 條 岐阜縣工業講習所ハ岐阜市八ツ梅町一丁目ニ置ク

第 條 所長 一人

技 師 若干人

技 手 若干人

主 事 補 若干人

第 條 所長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第 條 技師、技手ハ所長ノ指揮ヲ受ケ所務ヲ分掌ス

第 條 主事補ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

三、岐阜縣工業講習所處務規程 (大正九年三月十一日 岐阜縣訓令甲第十號)

第 條 所長ハ所務一切ニ付其ノ責ニ任ス所長事故アルトキハ次席ノ職員其ノ職務ヲ代理ス

第 條 所長ハ職員、所員及講習生ヲ監督シ職員ノ功過ハ之レヲ知事ニ上申スヘシ

第 條 左ニ掲グル事項ハ知事ノ許可ヲ經テ施行スヘシ

一、所長ノ出張ニ關スルコト

二、職員ノ管外出張ニ關スルコト

三、講習生ノ退學處分品行不良ニシテ改ニ關スルコト 善ノ見込ナキ者

四、管外修學旅行ニ關スルコト

五、臨時休業ヲナスコト但シ緊急ノ場合ニハ施行ノ後報告スルコトヲ得

六、教科用圖書ノ採定及改正ニ關スルコト

第 條 所長ハ左ノ事項ヲ專行スルコトヲ得

一、講習生募集、入學、退學、停學ニ關スルコト

二、管内修學旅行ニ關スルコト

三、職員ノ受持科目ニ關スルコト

四、職員及所員ヲ管内ニ出張セシムルコト

五、職員ニ除服出仕ヲ命スルコト

六、所員ヲ備入又ハ解備スルコト

七、豫算定額内ヲ以テ一歳金貳百圓未滿ノ物件ノ購入、修理、借入及圖書類ヲ印刷スルコト

- 八、指定金額ヲ超ヘザル指定修理及豫定額内小破修繕工事ヲ執行スルコト
- 九、豫算定額内ヲ以テ人夫ヲ使用スルコト
- 十、見積價額五拾圓未満ノ生産物及不用品賣却ノコト
- 前項第七號ニ依リ物件借入ニ付豫算外新ニ義務ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲サムトスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 前條第一號乃至第三號ノ事項ハ處決ノ後遲滞ナク知事ニ報告スヘシ
- 第六條 所長ハ處務細則ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 處務細則ニハ文書ノ取扱、保存、宿直、所員ノ服務心得並講習所内規其ノ他必要事項ヲ規定スヘシ
- 但シ處務細則ニ規定シ難キモノハ別ニ規程ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第七條 所長以下職員出張シタルトキハ歸所後十日以内ニ復命書ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第八條 所長以下職員出勤シタルトキハ自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第九條 技手又ハ主事補ノ内一名ハ毎夜(休暇日ハ晝共)宿直シテ退廳ヨリ翌日出勤時刻迄及休暇日ニ生ラタル事務ヲ取扱フヘシ
- 第十條 新ニ職員ニ任セラレタル者ハ三日以内ニ印鑑及履歷書ヲ縣廳ニ差出スヘシ
- 第十一條 所長以下職員病氣其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ所長ハ知事ニ其他ノ職員ハ所長ニ當日ノ出勤時刻迄ニ届出ヘシ
- 病氣ノ爲缺勤一週日ヲ超ユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出爾後一週日毎ニ本項ニ依リ届出ヘシ
- 第十二條 所長以下職員父母ノ病氣看護ノ爲缺勤セムルトスルトキハ期日ヲ記載シ知事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ任地ヲ離レムトスルトキハ旅行先ヲ記スヘシ

- 父母ノ年回墓參又ハ轉地療養ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ轉地療養又ハ旅行中疾病ニ罹リ許可ノ期間ニ歸任スルコト能ハザル爲延期ヲ願出ヅルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
- 第十三條 所長以下職員親族ノ喪一丁リ又ハ父母ノ祭日ニ相當シ缺勤セムトスルトキハ其ノ旨知事ニ届出ヘシ但シ親族トノ續柄ヲ記載スヘシ
- 第十四條 所長ハ一箇年間ノ事務功程ヲ翌年政始ノ日知事ニ報告スヘシ
- 第十五條 本規程ニ依リ職員ヨリ知事ニ提出スル書類ハ所長ヲ經由スヘシ

287
784

大正十二年十月十五日印刷
大正十二年十月二十日發行

(非賣品)

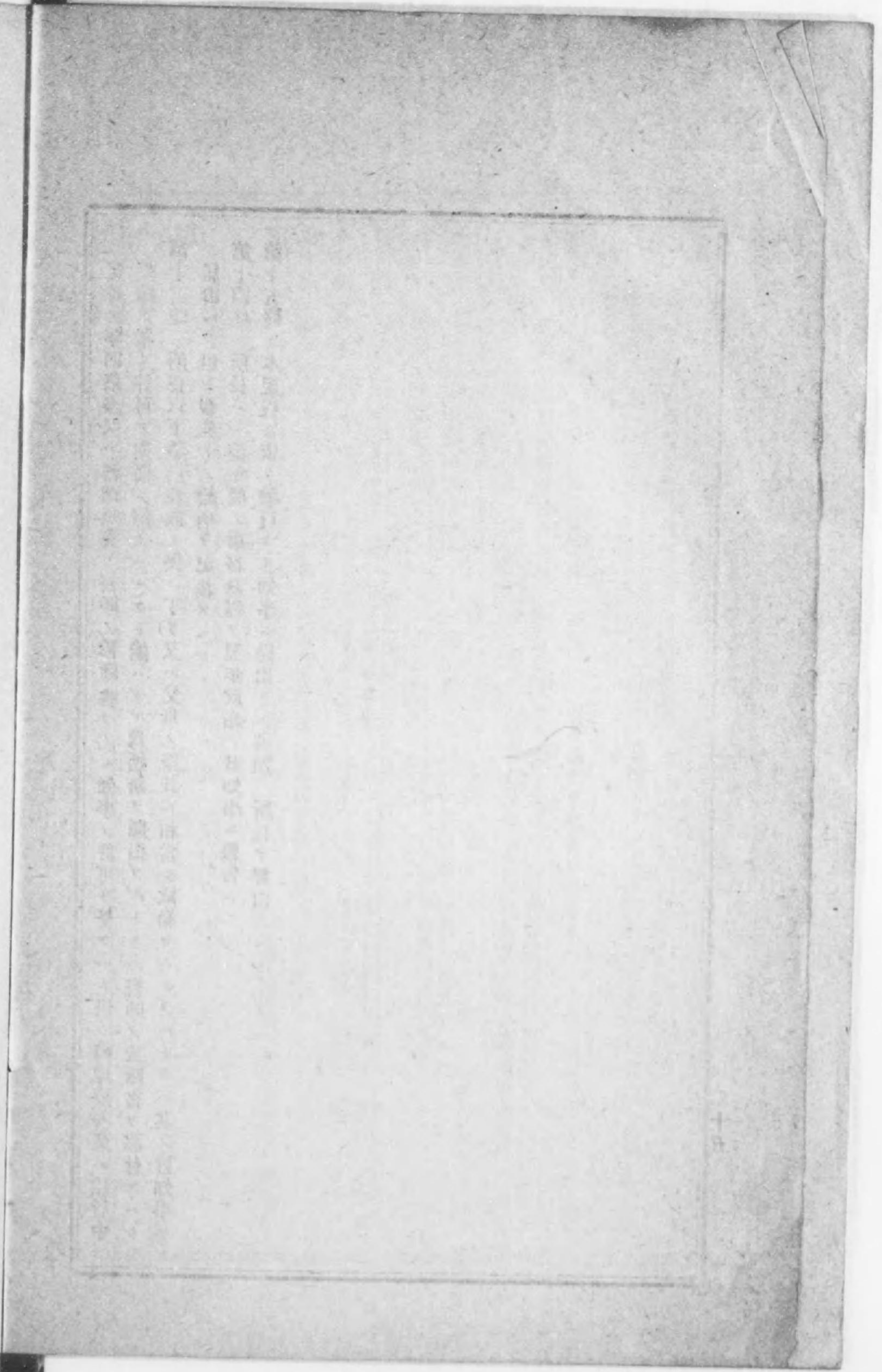
岐阜縣工業講習所

岐阜市泉町五十三番地

印刷人 佐藤勸治郎

岐阜市泉町五十三番地

印刷所 弘文舎



終

